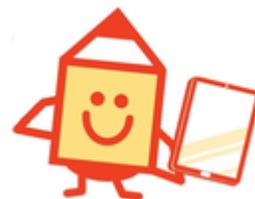


利用者の声（令和6年度）



溶接ものづくり科

ポリテクセンターを受講する事になったきっかけ

- 離職に伴い、今までの自身の経験にない溶接や鋼構造物の加工技能を身に付けたいと考え、ネット検索やハローワークで目にしたポリテクセンターという施設を知り、受講を決意しました。
- 以前よりポリテクセンターという施設の存在は知っていましたが、何を行っているところなのかは知りませんでした。離職をきっかけにハローワークにてまたポリテクという名前を耳にし、概要を聞いたところ今の自身の境遇にぴったりであると思ったので、実際に見学会に参加し、溶接ものづくり科への受講を決めました。
- 溶接を仕事としてしたいと考えていた際に友人に相談をしたら、県内で溶接を学べる場所はポリテクが最適だと聞いたので、ハローワークで詳細を聞き是非とも受講したいと思いました。

訓練を通じて感じたこと

- 年齢も50代になり、この歳での溶接訓練の受講には正直、不安もありました。ですが、日々、学ぶ内容も実習も楽しかったので、技術も自然に身に付いていきました。仲間にも恵まれ充実した6か月間となりました。今ではここで学べたことに感謝しています。
- 主な訓練内容は溶接技能の訓練だと思っておりましたが、それ以外の金属を削るや切る、折り曲げるなどの加工方法についても学ぶことができ、とても有意義な時間を過ごせたと思っております。
- 訓練を受けて良かったことという『他業種への転職をするというイメージが訓練を通じてしやすかったこと』、『雇用保険の給付期間が延びることがあり、その分、転職の準備が十分にできたこと』、『様々な年代の方や異業種であった人たちの声を聞いて、交流ができたこと』が挙げられます。
- 正直、できない技能の訓練もあったが、講師の丁寧でわかりやすい説明のおかげもあり、理解はできていました。技能が少しずつ前進していくことを感じ、そのことを楽しみながら訓練に励むことができました。
- 講師が丁寧に指導してくれました。そのおかげで技術が身に付きやすく、難しい内容の講習や実習もありましたが、それを覚えて形にできた時の快感がたまらなかったです。

今後の就職について

- 他業種への転職は訓練受講前よりもイメージしやすくなり、関連企業への内定をいただくことができました。この溶接ものづくり科を受講した半年間は有意義に過ごせたと感じており、今後の職業人生の向上につながったと思っております。
- 受講以前から自営業を行うことを考えており、機械や用具、構造物などの修理業をやりたいと思っていました。ですが、金属製のモノの修理には溶接が必須であることも理解してましたので、ここでその充実した訓練を受講できたことで、自営をする決心がつけました。今では会社登録も済ませており、仕事を受注する段階になっています。
- 訓練受講中の就職活動により、無事に関連の就職先への内定が決まりました。その企業からはポリテクでしっかり溶接技術を学んでから就業してほしいといわれ、卒業日まできっちりと訓練を受講することができ、今後の仕事で活かせることを楽しみにしています。
- 未だ就職には至っていませんが、溶接ものづくり科の訓練受講中に溶接の技能検定を受験しました。まだ合否判定は出ていませんが、自己採点の結果では合格は確実であると思っています。これにより自信もつき、より一層就職活動に取り組めそうです。

指導員からのコメント

溶接ものづくり科は、『金属と金属の分子レベルでの結合である溶接加工技術』を学び身に付け、仕事にできることを主としております。しかし、鉄工所などの金属のものづくり製造業や建設業では金属の接合のみならず『削る・切る・折り曲げる』などの加工も学ばなければ、関連就職先で活躍することができません。その為、異業種から溶接関連の就職先に転職する方にとって、その不安を取り除けるような実践的な知識や技能をわかりやすく身に付けていただきたいと考えております。さらに、溶接の技能検定の取得をされて、就職活動への強みにしている方も多くいますので、技術の理解や習得にはご安心を。

